

第4回

北海道e-水フォーラム

改めて、森・川・海のつながりを考える

今年で、4年目を迎える北海道e-水プロジェクト。

助成団体が行ってきた「水辺の環境教育」や「湿性植物の繁殖実験」、「外来種の駆除」など、多岐にわたる活動報告を聞く機会がいよいよやってきます。

また、今回、宮城県気仙沼で養殖漁業を営みながら、森・川・海のつながりを重視され、海のための森づくりや物質循環の重要性を訴えてこられた畠山 重篤さんをお招きし、海を支える身近な水辺の保全活動の大切さや現在の東北の海の復活状況などお話をいただきます。森・川・海のつながりがもたらす恵みを持続的に享受していくために、我々がやるべきことを一緒に考えませんか？

日時 2013年 **11月25日** 月
18:00～20:30

会場 **札幌国際ビル 国際ホール**
(札幌市中央区北4条西4丁目1番地 札幌国際ビル8階)

活動団体
発表

- 一般社団法人湿原研究所(大樹町)
- 尻別川の未来を考えるオピラメの会(ニセコ町)
- 手稲さと川探検隊(札幌市)
- NPO法人NATURAS(函館市)
- 野付半島・野付湾及び流入河川の環境保全ネットワーク(別海町)
- NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ(登別市)
- NPO法人ふらっと南幌(南幌町)
- 北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク(旭川市) ※五十音順

講演

「森・川・海
つながりから考える
気仙沼からの提言」

講師 **畠山 重篤 氏**
(NPO法人森は海の恋人 理事長)



■プロフィール

1943年中国上海生まれ。牡蠣養殖業・牡蠣の森を募う会代表、NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授、日本ベンクラブ会員。牡蠣養殖業を営む傍ら、豊かな海を取り戻すために漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動を続ける。また、子どもたちを養殖場へ招き、環境教育のための体験学習を続け、その数は一万人を超える。94年朝日森林文化賞、2000年第6回環境水保賞、2004年第52回日本エッセイスト・クラブ賞、2004年第14回宮沢賢治イーハトーブ賞などを受賞。2012年、国連森林フォーラム(UNFF)が選出する世界の森づくりに貢献した民間人を顕彰する「フォレスト・ヒーローズ」に選出される。

参加者にはジョージア・サントスプレミアム
北海道限定ラベル&いろはすを
プレゼントします。

ジョージア・サントスプレミアム北海道限定ラベルの売り上げの一部は、「北海道e-水プロジェクト」支援団体の活動資金として活用されています。



参加費
無料!
定員120名
※事前申し込み、先着順

<お申し込み・お問い合わせ先> 公益財団法人 北海道環境財団
TEL 011-218-7811 FAX 011-218-7812
E-Mail e-pro@heco-spc.or.jp

※FAX、E-Mailの方は、お名前、ご所属、お電話番号をお知らせください。いただいた個人情報は、本フォーラムの連絡以外には使用いたしません。

主催：北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団



北海道e-水プロジェクトは、北海道、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境の保全活動に取り組んでいます。

この印刷物は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO2削減事業ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

